とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0382
施設名	東福保育園
施設所在地	東京都福生市福生２０９
法人名	社会福祉法人　慈光会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

「色」

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

生活や遊びの中で色は常にふれているものであり、日常の遊びの中の一場面を切り取っていった。子どもたちの遊びの様子に合わせて、興味関心にあった色にちなんだ遊びを楽しめるようにしていった。

２．活動スケジュール

①色合わせ遊びをする（赤・青・黄）　②梅雨の時期にちなんで青の絵の具にふれる
③草花をつかって色水遊びをする　④寒天にふれて遊ぶ
⑤クレヨンでなぐり描きをする（模造紙）⑥クレヨンでなぐり描きをする（画用紙1人１枚）
⑦色合わせ遊びをする（赤・紫・黄・オレンジ・灰色）
⑧花紙にふれる　⑨ポリ袋の風船にふれて遊ぶ
⑩風船にふれて遊ぶ　⑪大きい画用紙にクレヨンでなぐり描きをする

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・はじめは三原色を意識し、子どもたちが目で見てはっきりとわかるものを用意した。
・子どもたちがブロックの色や洋服の色などを「○○色」と名前を言ったりしながら遊ぶようになったので、徐々に色を増やしていった。
・子どもたちの興味のある遊びを取り入れながら活動を進めた。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

①色合わせ遊びをする（赤・青・黄）	②梅雨の時期にちなんで青の絵の具にふれる
③草花をつかって色水遊びをする	④寒天にふれて遊ぶ
⑤クレヨンでなぐり描きをする（模造紙）	⑥クレヨンでなぐり描きをする（画用紙1人１枚）
⑦色合わせ遊びをする（赤・紫・黄・オレンジ・灰色）	
⑧花紙にふれる	⑨ポリ袋の風船にふれて遊ぶ
⑩風船にふれて遊ぶ	⑪大きい画用紙にクレヨンでなぐり描きをする

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・子どもたちの身近にあるテーマだったので、活動を通して自然に色にふれることができた。

・保育士間でも生活のなかで、色を意識して子どもたちと関わるようにした。子どもたちもいろいろな色に興味をもつようになった。

・色の名前がわからなくても、同じ色を合わせて「おんなじ」と保育士に知らせていた。

５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・１歳児クラスでの探究活動は難しいものがあると考えていたが「色」は遊びのなかに常にあり子どもたちにとって身近なものであると感じた。また、色の名前がわからなくても子どもたちなりに色と色を合わせ「おなじ色」であることを感じている姿を見て保育士が考えている以上に子どもたちは遊びのなかからいろいろなことを吸収しているのだと勉強になった。乳児クラスは探究までには到達できないが、保育士の環境設定次第でそのテーマにふれることは楽しめるのだと思った。